

広報しんとう



もっと! 暮らしやすい 新たな 榛東村へ

防災中枢機能施設完成イメージ



南村長

就任あいさつ

この度、第11代榛東村長に就任いたしました南千晴です。令和5年4月23日執行の榛東村長選挙におきまして、村民の皆さまからの4年間、村政を担わせていただくことになりました。改めて、村民の皆さまにこのように就任のご挨拶ができませんことを大変光栄に感じるとともに、村長という重責に身の引き締まる思いでおります。皆さまの思いや期待に応えるため、掲げた政策の実現に向けて精進してまいります。

そして、目標とする「もっと暮らしやすい新たな榛東村」を創るためには、私一人だけではできません。村の課題に向き合い、住民の多様な声を真摯に受け止めて、職員、議会、村民の皆さまと知恵を出し合いながら、様々な機関と連携し、村の発展に努めていきたいと考えておりますので、皆さまのご協力を心からお願い申し上げます。

令和5年6月

榛東村長

南千晴

この事業は、すでに実施設計が完了し、今年度から令和7年度にかけて防衛省の補助金を活用して整備する計画となっております。令和5年3月の議会定例会では、施設建設工事費を含む令和5年度の当初予算も可決され、事業が進んでおります。私としましては、この施設が「赤ちゃんから高齢者まで村民だれもが利用しやすく、集える施設、村民に愛される施設」にしたいという夢がございます。そのためにも今からできることを誠心誠意努めてまいります。今号では、計画の概要やこれまでの経緯、疑問点などを説明し、今後は、施設活用のアイデアやご意見を募集しながら、事業の進捗状況を報告していく考えであります。

前例や慣例にとらわれることなく、常に疑問を持ち、未来に向けて一歩一歩、信頼される村づくりを目指して全力を尽くしてまいります。

村民の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

整備のお知らせ



防災中枢機能施設とは

村の生涯学習の拠点となり、防災の中枢を担う**公民館**と、子どもたちの健康を支え、災害時の食糧基地ともなる**学校給食センター**を備えた新たな複合施設です。

防災中枢機能施設を整備

防災機能の向上と公共施設の効率的な運用を図るため、既存の中央公民館と学校給食センターの機能を持つ新施設を整備し、災害時には村の災害対応の拠点施設とします。

見直し

中央公民館（現在）

建築後50年を経過しており、雨漏りなどの老朽化に伴う不具合が生じ、災害時に避難所機能を十分に果たせない可能性が危惧されています。

学校給食センター（現在）

建築後30年が経過し、調理設備の老朽化が著しく、建て替えの必要があります。

生涯学習の拠点となる
新たな公民館

災害対応の
拠点としての機能

鉄筋コンクリート造1階建てで、延べ床面積は約2300平方メートル。ギャラリホールを中心に、数種類の会議室や大規模な催事に利用できる多目的ホールのほか、子育て世代が集える授乳室を備えたプレイルームや子どもから大人まで気軽に勉強に集中することができ、学習室、そして幅広い世代が利用できる創作室、ボランティア室を整備します。また、多機能トイレにはユニバーサルシートやベビーシート、ベビーベッドなどを整備します。

万が一の災害時に拠点となる防災中枢機能施設には、様々な機能が備えられています。

- ① 施設全体の防災機能
緊急車両や救援物資輸送車の駐車場としてのスペースを兼ね備えています。また、防災備蓄品等を保管する防災倉庫の設置や、非常の際のマンホールトイレの設置にも対応した施設となっています。
- ② 避難所としての公民館
公民館は避難所としての活用を想定した部屋の配置となっているほか、非常用電源と太陽光発電設備を備えています。
- ③ 応急給食の提供
学校給食センターは、応急給食の提供が可能な施設となっています。災害時には炊飯器を稼働し、おにぎり成形機を使用してのおにぎりやガス煮炊き窯による汁物の提供も可能です。また、食料を提供するための食器類や炊飯用の水を備蓄する倉庫も備えられています。

炊き立てごはんの提供ができる学校給食センター

鉄骨造2階建てで、延べ床面積2000平方メートル。園児、児童および生徒の心身の健全な発達に資するよう、バランスのとれた栄養豊かな給食を配食しつつ、炊き立てのご飯を提供できる炊飯設備を設けます。また、アレルギー給食に対応した調理室を設けます。

防災中枢機能施設の



公民館の各部屋と役割

プレイルーム・授乳室

乳児～幼児やそのご家族などの交流の場としての利用を想定。屋内遊具や絵本を用意し、読み聞かせやヨガなど親子で楽しめるスペース

学習室

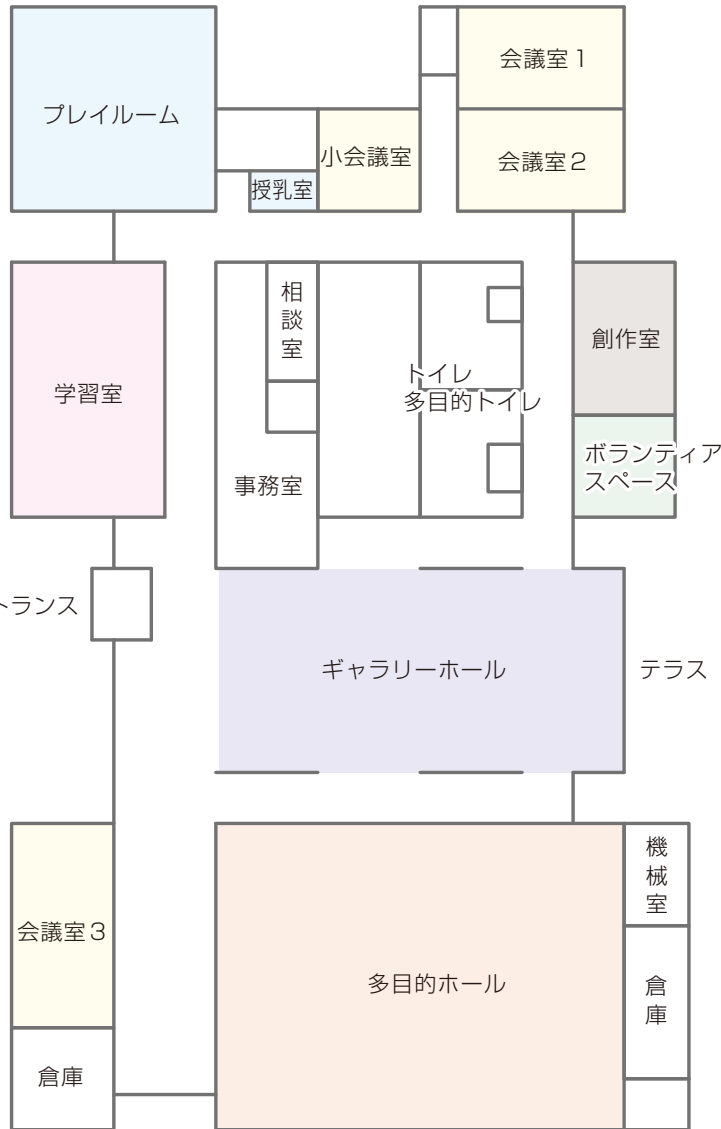
静かな環境で勉強に集中できるスペース。放課後や土日などに自宅以外の学習の場を提供します。約70人が利用可能。

ギャラリーホール

それぞれの部屋をつなぐ役割をもち、賑わいを演出するスペース。作品の展示や催事が行えます。屋外へつながるテラスは飲食のためのスペースとしても利用できます。

会議室3

一部の壁が鏡張りとなっている防音仕様の部屋。音楽やダンスなどの活動に利用できます。



会議室1・2、小会議室

各種会議や打ち合わせなどに利用できる会議室スペース。間仕切りを外すことにより一体利用も可能。

創作室

工作・絵画などの利用を想定。水道・流しを設け、教室や活動に利用できます。

ボランティアスペース

各種ボランティア活動に利用できる部屋。ほかにも団体活動や各種募集やイベントのチラシを置くこともできます。

多目的ホール

約300名が入れるフラットな大空間。講演会、イベントなどでの利用を想定しています。吸音壁を採用しており、コンサートの開催もできます。

公衆無線LAN (Wi-Fi)

施設内はWi-Fiを完備。学習スペースでのタブレット学習などに活用できます。

※榛東村防災中枢機能施設建設委員会とは

防災中枢機能施設の整備にあたり、より多くの意見を反映するため、令和2年度に10名の委員で組織された委員会です。各委員から出された提言を取り入れ、内容を協議しながら設計を進めました。各委員の選出区分と構成については次のとおりです。

○地域代表者

・榛東村自治会連合会長

○団体代表者

・榛東村教育委員会
・榛東村教育委員会
・榛東村文化協会
・榛東村文化協会展長

・榛東村消防団長
・榛東村防災ボランティア会長
・榛東村社会福祉協議会事務局長

○学識経験者

・高崎経済大学教授
・前橋工科大学教授
・県教育委員会管理栄養士

これまでの経緯

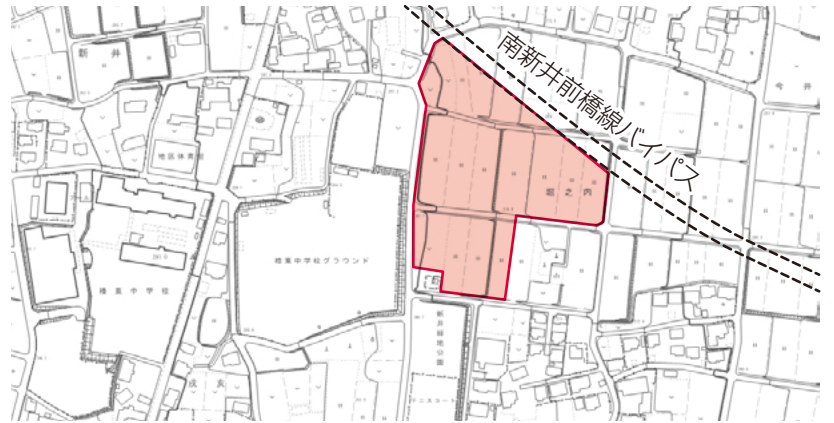
平成30年度に榛東村まちづくり計画を策定し、令和2年度に村内団体代表者や有識者として大学教授らを招いて組織した「榛東村防災中枢機能施設建設委員会」を設置しました。この委員会が新たな施設への提言を取りまとめ、設計へと反映しました。



しんとうちゃんに聞く！ここが知りたい新しい施設

Q どこにできるの？

A 榛東中学校グラウンドの東側に建設されます。群馬県が整備している南新井前橋線バイパスに隣接しており、村内主要道路からのアクセスも良好です。



Q 図書室（図書館）はないの？

A 図書室（図書館）については、建設委員会でも様々な角度から検討がなされました。その結果、図書室を中央公民館と南部コミュニティセンターに設置することで蔵書が重複し結果として整備できる本の種類が少なくなること、他市町村の図書館などの例を参考にすると人員や設備・備品など現在の図書室の運営にかかる費用の数倍の経費が必要となることなどの課題を確認することができました。また、防災中枢機能施設として避難者の居室や支援物資置き場、情報発信スペースなどを確保する必要もあります。これらを考慮したところ、新たな施設には図書室を設けずに南部コミュニティセンターにその機能を集約させることとなりました。今後は、小中学校を含めた図書室の蔵書のネットワーク化を図るなど、村民の皆さまの利便性が高まるような運用を検討していきます。

Q 地元食材の活用は？

A 地産地消の観点から、地元のお米や野菜などの食材を活用できるよう炊飯室や泥落とし室を設けています。榛東産食材による給食の日なども実施することが可能です。



Q いつから利用できるの？

A 令和7年8月から利用できる見込みです。詳細につきましては、改めてお知らせします。

Q 公民館としてはどんなことに使えるの？

A 新たな施設の活用について現在検討しているところです。多くの方に利用していただける施設となるよう、活用についてのご意見をメールで募集します。村内各施設にも意見箱を設置しますので、活用方法についてご意見をお寄せください。



■活用についてのご意見募集

榛東村教育委員会事務局生涯学習班
s-kyoiku@vill.shinto.gunma.jp

今後も防災中枢機能施設について、広報などでお知らせしていく予定です。また、施設の平面図については、榛東村ホームページに掲載しています。二次元バーコードから確認できます。

